

# 会 議 等 報 告 書

会議等名 袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業市民実行委員会  
第2回プロジェクトチームミーティング

日 時 令和3年6月13日(日) 10時00分から12時00分

場 所 袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

出席者 市民実行委員会プロジェクトチーム 8名  
市職員シティプロモーション戦略プロジェクトチーム 9名  
泉水秘書広報課長

## 【会議内容】

### 1 開会

### 2 議題

#### (1) イベントタイトルについて

#### 【メンバーからのタイトル(案)】

- ・SODELINK!!2021
- ・市制30年誕生祭 ガウラみらい博
- ・～それぞれがつむぐ30年～ みんなのSoDeGaura stories
- ・SDGura30th
- ・袖三祭 ～我が街の30年をみんなで～
- ・そでがうら30祭! Cheers to SoDeGaura's30
- ・SoDeGauraS 30周年祭
- ・市制30周年 人と未来をつなぐ袖ヶ浦 Festival
- ・ミライノミドリ Festival
- ・そでがうら未来フェス
- ・袖ヶ浦万博 On-Ko-Chi-Shin
- ・ガウラ EXPO ～Wen old wisdom new～
- ・GAURA EXPO 温故知新
- ・SODEGAURA 夢工場
- ・そでがうら 夢工場
- ・Sodegaura Green Festival ～30周年の感謝を胸に、笑顔と感動を未来へ繋げて～

※各メンバーから提案理由等を説明し、その後意見交換を行った。

## 【意見等】

- ・ イベントタイトルに、30周年であることが一目でわかるような表記が入っていたほうが良い。また、できればメインタイトルは短く、サブタイトルで少し意味を補足できれば良い。
- ・ 「袖ヶ浦万博」は、行政が行うイベントで万博となると、どうしても規模の大きいものを想定してしまうのではないかと（例：実際の万国博覧会のような）。市内で既に行われている民間イベントとの兼ね合いも気になる。
- ・ どういった方にイベントに来てほしいかということで、タイトルも決まってくるのでは。若い子育て世代がメインターゲットとなるのはわかるが、30周年であるので、今までの袖ヶ浦を創ってきた方への感謝や、温故知新という考え方は必要だと思う。
- ・ どの世代も分かりやすいという観点から、あまり外来語等ではなく、平易な日本語の方が良いのでは。
- ・ フェスというだけでも音楽イベントのイメージが強い。フェスティバルだと少しイメージも変わるが…

## 【結論】

- ・ イベントの内容の検討と並行して、タイトルも候補を絞りながら引き続き検討を行う。最終的には7月の役員会で決定予定。

## (2) 詳細スケジュール、会場配置図（案）について

- ・ 事務局より説明。詳細スケジュールについては、第1回役員会を若干前倒しして、7月中旬に開催し、その時点でのイベントの開催判断を行う予定。8月以降にステージ出演団体や、飲食店、ワークショップ等の出店団体の募集を開始する。  
会場配置図については、例年の市民夏まつりをベースに、混雑回避を意図して作成した。出店・ワークショップエリアは、西側スポーツランド寄りのアスファルトの駐車場部分に、イベントコンテンツエリアは芝生広場の北側に配置してある。ただし、イベントコンテンツの内容の決定により、今後エリアも変更あり。飲食については、感染予防のため、指定されたエリア内のみで可とする方向で検討。

## 【質疑・意見】

- ・ 商工会青年部で同時開催予定の子どもたちの職業体験については、スポーツランドエリアでの開催を検討してほしい。メインの芝生広場からも近く、屋内施設も一部利用可能。給水等もあり、重機や大型車両を駐車するスペースもある。
- ・ 飲食の出店エリアと、来場者の飲食エリアが離れすぎているのが気になる。ワークショップとイベントコンテンツエリアを並べるなどして、調整できると良い。

### (3) 各チーム分担での検討

#### 1. 全体運営・コロナ対策チーム

##### (1) 新型コロナ対策について

- ・イベントの参加定員については上限を設定する予定。例年の市民夏まつりは約1万5千人の来場があるが、上限を何名とするかは、今後の感染状況や国のガイドライン等を参考に決定していく。
- ・参加者の事前登録については、行う方向で検討していく。Google フォームやLINE の有償サービス等を含めて検討していく。なお、LINE については、7月より市公式LINE による情報発信を開始する予定。
- ・東京ドイツ村内で、芝生広場等のイベントエリアを限定し、入退場管理を別途行うことについては、どこからも入れる会場の都合上不可能なため、実施しない。
- ・当日の検温については、入退場ゲートで行うと渋滞等を招く可能性があるため、個別のイベントコンテンツやワークショップ等の店舗で行うこととする。重複を防ぐため、検温を実施した方にはリストバンド等を用意し目印とする。手指消毒液は各所に設置し、飲食店等の列にはソーシャルディスタンスの目印を用意する。
- ・飲食スペースについては、共有のスペース（椅子やテント等）は感染を防ぐため設けない。芝生エリアに飲食エリアを設定し、参加者各自がシート等を用意し、家族やグループ単位で飲食をしていただく。休憩スペースについても同様。喫煙所は、最寄りスポーツランドにあり、屋外のため新たな対応は行わない。

当日、ミニシートの販売や、ゴミの持ち帰りを促すアナウンスを検討する。

##### (2) 全体のオペレーション関係

- ・イベントの開催時間は、9：30～19：00を目安とする。
- ・人員輸送は、バスでの密を避けるため、臨時駐車場とのバスピストンは行わない方向で検討する。同様の考え方から、市内各所からのバス運行も行わない方向。臨時駐車場の設置については、参加定員等との兼ね合いで検討。警備関係は例年同様に委託警備を行う。

##### (3) オンラインの取組関係

- ・当日会場に来られない方のためにも、ステージや花火のオンライン配信を検討する。

#### 2. ステージ・花火チーム

##### (1) ステージについて

- ・ステージの出演団体については、8月より募集開始予定。募集対象は、市内で活動する団体や市民等で構成された団体を中心とする予定。募集は、広報紙、HP、SNS等を活用。出演団体のジャンルはあまり限定しないようにする。20団体程度を想定。
- ・プロアーティストの招聘は、予算との兼ね合いで検討する。ステージ設備・音響・照明についても、その点を考慮し検討する。企業からの協賛や支援も検討。司会はプロに依頼。

##### (2) 花火について

- ・花火の打ち上げ場所は、例年同様ボート池付近とする。
- ・花火の演出として、ステージ音楽との連携等も検討する。花火後の帰宅者の密を避ける工夫として、花火後に何らかの演出を設けて、帰宅時間の分散を図ることも検討する。

### **(3) その他の取組について**

- ・東京ドイツ村のイルミネーションのプレ点灯と連携して、行灯等をワークショップで作成し、イベントでの夜間装飾に参加できると楽しい。
- ・オンライン配信（インスタライブ等）、袖ヶ浦駅前広場でのパブリックビューイング、ガウラを活用したアニメーション等はどうか。

## **3. イベントコンテンツチーム**

### **(1) 市制施行30周年を祝うイベントコンテンツ**

- ・袖ヶ浦高校書道部に「30周年を祝う書」を書いてもらい、イベント後には市内施設等へ掲出する。ステージイベントとして吹奏楽部の演奏も等も検討。
- ・袖ヶ浦音頭を若い人にも楽しめるようにアレンジする（テクノ等）。
- ・30周年を祝うガウラのLINEスタンプの作成
- ・過去の30年を振り返るような動画を作成し、イベント前後にも各公民館等で放映。
- ・市内の航空写真で振り返る30年間の移り変わり。
- ・各種団体から、「今までの30年、これからの30年」を感じる発表や作成等を依頼。

### **(2) 未来のまちづくりに向けたイベントコンテンツ**

- ・子どもたちの夢を描いてもらったものをモザイクアート等にして展示。（「みらいのまちデザインプロジェクト」とのコラボレーションを検討）
- ・スマートモビリティ、電気自動車、自動運転等の展示・体験乗車。市内企業の研究施設や工場等のコラボレーション。

### **(3) その他イベントコンテンツ**

- ・商業、工業、農業、スポーツ関係団体等に参加募集を行う。建設業者や大工さん等が子ども向けの椅子づくりなど。

## **4. 出店・ワークショップチーム**

### **(1) 出店店舗・ワークショップの募集について**

- ・出店店舗の募集期間は8月より募集開始予定。募集対象は、飲食店は商工会・観光協会に所属し、県内全域での飲食業の許可を得ているもので想定。ワークショップやPR出店は市内に所在する個人や店舗を想定。出店数は、会場の規模からある程度の枠を設ける。  
(15～20店舗程度)
- ・主催者側では、テント、机、椅子等の基本物品のみ用意。テントはサイズやデザイン等を統一できればよい。テントを活用して販売等を行う場合には、テント負担金（1万円程度）を徴収する。また、例年同様の売上手数料を会場施設に支払う。
- ・キッチンカーについては、市内事業者であれば可とする方向で検討。

- ・9月以降に出店者説明会を2回開催する。1回目は、概要説明。2回目で保健所等への書類を提出してもらい、配置場所を決定する。

## **(2) イベント当日の運営について**

- ・テント、いす、テーブル設置は委託業者により行う。飲食とワークショップで、それぞれ営業時間は揃えた方が良い。搬入・搬出時は、一時的に車両の進入を許可する。

## **5. 広報・PRチーム**

### **(1) イベントの事前広報・PR方法（使用する媒体）**

- ・事前の広報・PR手法としては、原則として市の既存の媒体を使う。市広報紙、市公式ホームページ、市公式ツイッター、ガウラツイッター、広報インスタグラム、ガウラインスタグラム、市公式ユーチューブチャンネル等を活用し、事前のPRを行う。
- ・ホームページについては、イベント用のホームページの立ち上げは行わず、市公式ホームページ「30周年特設サイト」内に、イベント用のページを作成し、随時更新していく。
- ・SNSアカウントについても、一定のフォロー数がある既存のアカウントを活用する。ハッシュタグについては、「#そでがうら30周年」の他に、イベント名が決定後に「#イベント名」のタグをつけてPRする。
- ・SNSを活用し、文字だけではなく、動画等を活用して事前の準備の様子や参加団体の事前告知等を行いたい。
- ・YouTubeの告知用に、ガウラをメインにした新しいチャンネルをつくる。イベントに向けて、作業や準備をしているところからPRしたい。

## **3 その他**

- ・プロジェクトチームでの情報共有のため、無料アプリの「LINEWORKS」の活用を予定している。事務局より招待メールを送るので参加してほしい。
- ・プロジェクトチームの正式名称が長いため、愛称等を決めたらという提案があった。LINEWORKS等で気軽にアイデアを出し合って決めたい。
- ・今回の検討状況を踏まえ、当初予定していなかったチームミーティングを7月に開催する予定。日程調整はLINEWORKSで行う。

## **4 閉会**